

名古屋市図書館中期計画

平成21年6月

名古屋市図書館

1. はじめに

この「名古屋市図書館中期計画」は、平成 20 年 6 月に策定した「市民の生活に役立つ図書館をめざして」の理念・方針を実現するための中期の方策・目標であるとともに、「名古屋新世紀計画 2010 第 3 次実施計画」（平成 19～平成 22 年度）や「名古屋市子ども読書活動推進計画」（平成 19～平成 23 年度）で掲げた名古屋市図書館の方策・目標を「市民の生活に役立つ図書館をめざして」の枠組みの中に位置づけ、名古屋市図書館が中期に達成すべき新しい事業・サービスの全体像を明らかにするものです。

名古屋市図書館は、これまで実施してきた事業・サービスのさらなる向上を図るとともに、この「名古屋市図書館中期計画」の方策・目標に掲げた新しい事業・サービスに取り組むことにより、「市民の生活に役立つ」図書館となることをめざします。

「市民の生活に役立つ図書館をめざして」 名古屋市図書館 平成 20 年 6 月

【基本理念】

現在および将来において必要となる多様な資料・情報の収集・保存に努め、市民ひとりひとりに利用しやすい環境を整備し、「市民の生活に役立つ」図書館をめざします。

【基本方針】

- ①資料・情報の表現形式・形態の特性を考慮して、総合的に「市民の生活に役立つ」多様な資料・情報を収集・整理・保存します。（アーカイブ）
- ②市民ひとりひとりに図書館サービスが届くように努めるとともに、必要とする資料・情報を入手するためにかかる時間をできるだけ短くして、提供します。（ナビゲーション）
- ③市民および公共図書館・大学図書館・その他の専門機関とのネットワークを構築します。（ネットワーク）

2. 計画の期間

計画の期間は、平成 21 年度から平成 25 年度までの 5 年間とします。

3. 計画の方策・目標（☆…新たな取り組み、○…継続、拡充）

（1）生涯学習に役立つ市民の書斎

○資料収集方針の改訂、特別収集の指定

目標 1 資料・情報の表現形式・形態の変化に対応した資料収集方針を策定します。また、歴史的・文化的に特に重要な名古屋市の取り組みに関する資料について特別収集を行います。

資料収集方針を見直し、資料・情報の表現形式（文字・映像・音声）や形態（印刷資料・非印刷資料）に関わらず、市民の暮らしを豊かにし、学びたいというすべての市民の意欲に応えられるような多様な資料・情報を収集することをめざします。

名古屋市の取り組みについて特別収集の指定を行い、関係機関との連携（後掲目標14）によりポスターやちらしなどの従来は収集・保存していなかったものも含めて資料の網羅的な収集・保存を行います。

○資料の整理・保存

目標 2 市民の財産である資料の適正な管理に努めるとともに、資料の長期的な保存のあり方について研究し、その実現を図ります。また、全所蔵資料の目録情報のデータベース化を図り、収集した資料について利用しやすい環境を整備します。

資料の適正な管理に努めるとともに、現在だけでなく未来においても資料が利用できるような、保存スペースの確保や、利用と保存を両立するための方策（後掲目標3）など、資料の長期的な保存のあり方について研究し、その実現を図ります。

また、一部の古い資料について、紙媒体のカード目録・冊子目録しかないために検索が容易でないという不便な状態を解消し、誰もが容易に検索できるよう整備を進めます。

(2) 郷土の歴史・文化の発展・継承

○郷土資料の整理・保存

目標 3 郷土資料を調べるためのツールの整備を進め、市民の調査・研究を支援します。また、貴重資料の電子化・マイクロフィルム化を計画的に進めるなど、利用と保存の両立に努めます。

郷土資料を調べるためのツール（参考図書など）は種類が限られており、地域の図書館が独自に作成することが重要だと考えます。

そこで、名古屋市図書館では、尾張・名古屋に関する資料・情報を効率的に調べるためのツールの整備を進め、市民の調査・研究を支援するとともに、郷土資料を活用した研究成果について積極的に収集を図ります。

また、貴重資料については影印本や翻刻本の存在の有無の調査などを行った上で、電子化・マイクロフィルム化の見通しを明らかにし、その進ちょく状況について公表します。

☆電磁的記録の保存・提供

目標 4 地域行政資料・情報の保存を図るため、名古屋市がインターネット上にのみ公表する資料を含む電磁的記録について保存・提供する仕組みを研究し、その実現を図ります。

インターネット上にのみ公表されている資料・情報については、安定性がなく改変・削除される可能性があります。また、外部記録メディア（CD-ROM や DVD など）の形態で刊行される資料についても、記録媒体の更新やバックアップをしなければ、長期的に保存・利用することは困難です。

そこで、これらの電磁的記録の保存・提供については名古屋市図書館の責務と考え、関係機関との連携（後掲目標14）により図書館資料として収集・整理・保存し、将来的にも提供できるようにすることをめざします。

(3) 誰もが利用しやすい図書館づくり

☆新しいサービスの研究

目標 5

誰もが利用しやすい図書館となるよう図書館サービスのあり方について研究し、その拡充を図ります。

テーマ別・ライフサイクル（年齢・世代）別・サービスの利用者（勤労者・障害者・母語が日本語でない方など）別に図書館サービスのあり方について研究し、その成果を各事業・サービスの中で実現していきます。

☆インターネットの活用、参加型子ども向けホームページの創設

目標 6

図書の貸出についてインターネットによる予約受付を実施します。また、参加型子ども向けホームページを創設するなど、インターネットを活用したサービスについて研究し、その実現を図ります。

「名古屋新世紀計画2010 第3次実施計画」の目標であるインターネットによる図書の予約受付（自宅とつなぐ図書館サービス）を実施します。

また、「名古屋市子ども読書活動推進計画」の方策である参加型子ども向けホームページを創設するなど、時間や場所による制約が少なく、双方向のメディアであるというインターネットの特性を生かして、より利便性の高い図書館サービスの実現をめざします。

(4) 快適な空間づくり

○図書館施設の整備

目標 7

図書館施設の改築・改修計画や設備の導入計画などを明らかにするとともに、工事内容や進ちょく状況について随時公表します。

図書館施設については「名古屋新世紀計画2010 第3次実施計画」の中で緑区支所管内図書館の開館、瑞穂図書館および千種図書館の移転改築を行うことを計画しています。

これらの計画については広報なごやなどでお知らせしていますが、今後は図書館ホームページにも掲載するとともに、工事概要や工事の進ちょく状況についても随時、図書館ホームページで公表します。

(5) 課題解決に役立つ知恵袋

○レファレンスの拡充

目標 8 レファレンスに必要な参考資料・各種データベースなどの充実を図るとともに、気軽に質問・相談できるよう環境を整備し、レファレンスサービスを拡充します。

市民の調査・研究や日常のさまざまな課題の解決を支援するため、図書館資料およびインターネットなどの外部情報源を活用したレファレンス（参考調査・読書相談）サービスを拡充します。

そこで、レファレンスの基盤となる参考資料や各種データベースなどの充実を図るとともに、質問・相談の受付から回答まで、どのように行われるかを分かりやすく紹介し、気軽に質問・相談していただける環境を整備します。

また、レファレンスの受付方法として口頭・電話・文書に加えて、電子メールによるレファレンスを実施します。

(6) 暮らし・仕事に役立つ情報の発信

☆図書館利用講座の実施

目標 9 図書館の利用方法・仕事・歴史について学ぶことのできる図書館利用講座を実施します。

子どもを対象とした施設見学や職場体験を充実させるほか、子どもから大人まで、あるいは親子を対象として図書館利用講座を実施し、名古屋市図書館の利用方法・仕事・歴史について理解を深めていただくことをめざします。

☆パスファインダーの作成

目標 10 パスファインダーや各種目録を作成し、市民の調査・研究を支援します。

よくある質問・相談についてテーマ別に、パスファインダー（資料の調べ方などを分かりやすく解説したリーフレット）や各種目録（関連資料を一覧にしたリスト）を作成し、積極的に暮らし・仕事に役立つ情報を発信します。

また、情報の発信方法として、印刷物を配布したり、図書館ホームページに掲載するとともに、図書館主催の各種講座（前掲目標9、後掲目標12）などでその活用を図ります。

(7) 読書・図書館の魅力を伝える活動

○学校図書館との連携、中・高校生向けメールマガジンの配信

目標11

学校図書館との連携のあり方やネットワーク化について研究を進めます。また、中・高校生に向けて読書・図書館に関する情報を積極的に発信するなど、読書離れの傾向が強い世代を対象として読書および図書館利用の促進を図ります。

「名古屋市子ども読書活動推進計画」の方策である学校図書館と名古屋市図書館の連携のあり方について総合的に研究し、学校図書館の運営や図書館利用教育などの面においても協力して取り組んでいきます。

また、同じく「名古屋市子ども読書活動推進計画」の方策である中・高校生向けメールマガジンの配信など、読書離れの傾向の強い世代に適した方法で情報を発信します。

○行事・講座・展示の拡充

目標12

子どもから大人まで、あるいは親子を対象として読書・図書館の魅力を伝える行事・講座・展示などの拡充に努めます。

おはなし会などの子どもを対象とした行事を充実させるほか、子どもから大人まで、あるいは親子を対象としてさまざまな行事・講座・展示を企画し、いろいろな角度から読書・図書館の魅力を伝えます。

(8) 名古屋の知恵の環の構築

○ネットワークの拡充

目標13

名古屋市内の公共図書館・大学図書館・専門図書館などとのネットワークの構築に努めます。

名古屋市内には名古屋市図書館や愛知県図書館などの公共図書館以外にも大学図書館や専門図書館など、資料・情報を蓄積した施設（類縁機関）が多数あり、一般の方もご利用いただける大学図書館については図書館ホームページで紹介しています。

このネットワーク（名古屋の知恵の環）をさらに拡充するとともに、類縁機関の各種情報を収集し、一覧できるように整理して図書館ホームページなどで提供することにより、市民の調査・研究を支援します。

○行政機関との連携

目標14

名古屋市のさらなる発展のために、名古屋市の行政機関との連携を深め、地域行政資料の網羅的な収集・保存を図るとともに、行政機関に対する資料調査の支援（レファレンス）・資料提供を積極的に行います。

名古屋市の行政機関が発行する刊行物はインターネット上にのみ公表されるもの（前掲目標4）を含めて、市民生活に関わる重要な資料・情報です。これらの地域行政資料について名古屋市の行政機関と連携し、網羅的な収集・保存を図ります。

また、積極的に名古屋市の行政機関に対する資料調査の支援（レファレンス）や資料提供を行います。

(9) 市民・地域社会との協働

○市民・地域社会との協働の促進

目標 15 地域に根ざした図書館をめざします。また、地域のボランティアの方がその力を発揮できる仕組みを研究し、その実現を図り、市民・地域社会との協働により行事や展示などを実施します。

それぞれの地域の特性を活かし、行事・講座・展示などの実施（前掲目標 12）については図書館が企画するものだけでなく、市民・地域社会との積極的な協働による企画・運営を図ります。

名古屋市図書館では返本、装備、おはなし会・行事、対面読書、点訳、音声訳など、さまざまな場面でボランティアの方に活動していただいています。

これらのボランティアの方にその力を発揮していただけるよう環境を整備し、活動内容に応じて養成講座や研修を行うことにより、名古屋市図書館の一層の活性化を図ります。

○資料の循環、ブックホスピタル、子ども読書基金

目標 16 市民からの寄贈を受けた資料や図書館で不用決定した資料を循環させる仕組みを研究し、その実現を図ります。また、子ども向け図書を充実させるために、ブックホスピタルの実施や子ども読書基金の創設をめざします。

市民からの寄贈資料を再利用する市民リサイクルと、図書館で不用決定した資料を再利用する無償譲渡の事業を見直し、現在の再利用の仕組みをさらに発展させて、市民から市民へ、資料を循環させる新しい仕組みを研究し、その実現を図ります。

また、「名古屋市子ども読書活動推進計画」の方策であるブックホスピタル（子ども向けの図書の補修・メンテナンスを行い、必要なところへ配布する）の実施や子ども読書基金の創設をめざします。

(10) 発展性・柔軟性をもつ運営システムの構築

○運営システムの構築

目標17

社会の変化に対応できるよう柔軟かつ発展的に運営システムを見直し、図書館事業・サービスの向上をめざします。

名古屋市図書館の中央館と分館および自動車図書館の相互間で情報の共有・蓄積や物流の向上を図り、名古屋市図書館ネットワークを拡充します。

また、図書館事業・サービスの実施状況や取り組みの内容について「市民の生活に役立つ」という視点のもとに実績評価を行うことにより、柔軟かつ発展的に運営システムを見直し、図書館事業・サービスのさらなる向上をめざします。

○職員の資質向上

目標18

職員研修を拡充し、職員の資質向上に努めます。

職員研修を拡充し、レファレンス（前掲目標8）や読書・図書館の魅力を伝える行事・講座・展示などの企画実施（前掲目標9、12）などに必要な知識・技能の習得および接遇の向上を図り、知識面・技能面・接遇面での資質向上に努めます。

「市民の生活に役立つ図書館をめざして」の取り組みと「名古屋市図書館中期計画」の方策・目標の対照表

| 「市民の生活に役立つ図書館をめざして」 | | | 「名古屋市図書館中期計画」 | | |
|-----------------------------|-----|--------------------|---|--------------------|------------------------------|
| 過去・現在・未来をつなぐ図書館 | (1) | 生涯学習に役立つ市民の書斎 | ①多様な資料・情報の収集に努めます。 | 目標 1 | 資料収集方針の改訂、特別収集の指定 |
| | | | ②使いやすく分かりやすいツールの作成を進めます。 | 目標 2 | 資料の整理・保存 |
| | | | 目標 3 | <u>郷土資料の整理・保存</u> | |
| | (2) | 郷土の歴史・文化の発展・継承 | ①インターネット上にのみ公表される資料・情報を含めた、尾張・名古屋・愛知県に関する資料・情報の収集・保存・提供に努めます。 | 目標 4 | 電磁的記録の保存・提供 |
| ②貴重資料の電子化およびマイクロフィルム化を進めます。 | | | 目標 3 | 郷土資料の整理・ <u>保存</u> | |
| 市民と資料・情報をつなぐ図書館 | (3) | 誰もが利用しやすい図書館づくり | ①ライフサイクルやサービスの利用者に応じた図書館サービスを充実します。 | 目標 5 | 新しいサービスの研究 |
| | | | ②インターネットを活用したサービスを充実します。 | 目標 6 | インターネットの活用、参加型子ども向けホームページの創設 |
| | (4) | 快適な空間づくり | ①図書館施設の改築・改修を計画的に進めます。 | 目標 7 | 図書館施設の整備 |
| | (5) | 課題解決に役立つ知恵袋 | ①図書館の活用法を広めていきます。 | 目標 9 | <u>図書館利用講座の実施</u> |
| | | | ②レファレンスの窓口を設置します。 | 目標 8 | レファレンスの拡充 |
| | | ③行政支援の窓口の設置を検討します。 | 目標 14 | <u>行政機関との連携</u> | |

| | | | | | |
|---------------------|-----|-----------------|----------------------------------|---|--------------------------------------|
| 市民と資料・情報をつなぐ図書館 | (6) | 暮らし・仕事に役立つ情報の発信 | ①暮らし・仕事に役立つ情報を発信します。 | 目標 10 | パスファインダーの作成 |
| | | | ②情報リテラシー講座を開催します。 | 目標 9 | 図書館利用講座の実施 |
| | (7) | 読書・図書館の魅力を伝える活動 | ①名古屋市子ども読書活動推進計画を実施します。 | 目標 6 | インターネットの活用、 <u>参加型子ども向けホームページの創設</u> |
| | | | | 目標 11 | 学校図書館との連携、中・高校生向けメールマガジンの配信 |
| ②大人向けの事業を充実します。 | | | 目標 16 | 資料の循環、 <u>ブックホスピタル</u> 、 <u>子ども読書基金</u> | |
| 市民・地域社会をつなぐ図書館 | (8) | 名古屋の知恵の環の構築 | ①資料所在情報・相談窓口情報のワンストップサービスをめざします。 | 目標 13 | ネットワークの拡充 |
| | | | | 目標 14 | 行政機関との連携 |
| | (9) | 市民・地域社会との協働 | ①市民とのパートナーシップによる図書館事業を展開します。 | 目標 15 | 市民・地域社会との協働の促進 |
| | | | | 目標 16 | 資料の循環、ブックホスピタル、子ども読書基金 |
| 発展性・柔軟性をもつ運営システムの構築 | | | | 目標 17 | 運営システムの構築 |
| | | | | 目標 18 | 職員の資質向上 |

* は「市民の生活に役立つ図書館をめざして」の他の取り組みと関連するもの、項目を変更したものです。